

第65回学術講演会 各賞受賞者

優秀演題賞 受賞者

| |
|---|
| <p>李理華 先生 (山口大学) ワークショップ1 卵胞発育・黄体形成 WS-1-4 「ラット顆粒膜細胞の黄体化に伴うP450scc 遺伝子発現における epigenetics 制御機構の関与」</p> |
| <p>廣田泰 先生 (東京大学) ワークショップ2 妊娠成立と維持 WS-2-1 「プロゲステロンによって誘導されるガレクチン-1は、妊娠の維持に重要である」</p> |
| <p>川村明緒 先生 (京都大学) ワークショップ3 母体死亡リスクの低下をめざして WS-3-2 「子宮内バルーンタンポナーデ法の成否に関わる要因の検討」</p> |
| <p>西田晴香 先生 (東京大学) ワークショップ4 婦人科がんにおけるnon coding RNAs WS-4-4 「子宮頸癌担癌マウスにおけるHPV E6 siRNA内包ナノミセルを用いた新規分指標的薬の抗腫瘍効果の検討」</p> |
| <p>木須伊織 先生 (慶應義塾大学) 高得点演題1 生殖医学1 K1-1-2 「世界初の霊長類動物モデルを用いた子宮移植後の妊娠出産例」</p> |
| <p>小田切幸平 先生 (名瀬徳洲会病院) 高得点演題2 症例 K1-2-5 「奄美群島の周産期医療における携帯型胎児心拍数計測装置の導入と効果について」</p> |
| <p>市瀬菜里 先生 (東京大学) 高得点演題3 周産期医学1 K1-3-5 「脳室周囲白質軟化症に対する低温療法の効果—ラットモデルにおける in vivo, in vitro での検討」</p> |
| <p>安彦郁 先生 (京都大学) 高得点演題4 婦人科腫瘍学1 K1-4-4 「免疫抑制分子PD-L1は腹水中で卵巣癌細胞表面に発現し、細胞傷害性Tリンパ球からの攻撃を回避することにより卵巣癌腹膜播種を促進している」</p> |
| <p>佐藤尚人 先生 (自治医科大学) 高得点演題5 婦人科腫瘍学2 K1-5-7 「子宮頸がん初期病変に対する悪性型HPV E6E7 を標的とした新規治療の開発に向けての基礎研究」</p> |
| <p>須藤乃里子 先生 (東京医科歯科大学) 高得点演題6 女性医学 K2-1-5 「臍帯血および末梢血由来Endothelial colony-forming cellsの分離と細胞特性の比較」</p> |
| <p>前川亮 先生 (山口大学) 高得点演題7 生殖医学2 K2-2-1 「Estrogen receptor1 (ESR1)の組織特異的な発現は、promoter領域の組織特異的なDNAメチル化により調節されている」</p> |
| <p>高木清考 先生 (東京医科歯科大学) 高得点演題8 生殖医学3 K2-3-1 「マウスICSI 胚の発現調節に影響を受ける遺伝子の同定」</p> |
| <p>佐藤佳世 先生 (東京慈恵会医科大学柏病院) 高得点演題9 婦人科腫瘍学3 K2-4-6 「Surgical stagingの完遂度とI期卵巣明細胞腺癌の予後」</p> |
| <p>金美善 先生 (札幌医科大学) 高得点演題10 婦人科腫瘍学4 K2-5-4 「妊娠分娩管理を見据えた腔式広汎性子宮頸部摘出術(VRT)の縮小手術の可能性」</p> |
| <p>中島彰俊 先生 (富山大学) 高得点演題11 周産期医学2 K2-6-6 「HIF-1α強発現はオートファジーを介してEVT細胞内エネルギーを負に制御し、妊娠高血圧症候群(PE)の胎盤形成不全に関与する」</p> |
| <p>神谷千津子 先生 (国立循環器病研究センター) 高得点演題12 周産期医学3 K2-7-2 「周産期心筋症における抗プロラクチン療法の有効性についての研究: 全国多施設前向き共同研究」</p> |

第65回学術講演会 各賞受賞者

松川哲 先生（名古屋大学）

高得点演題13 周産期医学4 K3-1-4

「癒着胎盤における遺伝子発現解析」

山下亜紀 先生（東京大学）

高得点演題14 周産期医学5 K3-2-3

「EPA(エイコサペンタンエン酸)の活性代謝物は新規の早産予防薬になりうる」

三好潤也 先生（熊本大学）

高得点演題15 周産期医学6 K3-3-1

「RAINBOW project：多角的介入による早産予防対策事業の効果」

松崎慎哉 先生（大阪大学）

高得点演題16 婦人科腫瘍学5 K3-4-5

「Annexin A4の発現は銅のトランスポーターでありプラチナの排出に関与すると知られるATP7Aを介して、耐性獲得に関与する」

原尚子 先生（東京大学）

高得点演題17 婦人科腫瘍学6 K3-5-5

「産婦人科領域の腹部リンパ疾患に対する新たなるアプローチ ～Supermicrosurgeryを用いたリンパ管静脈吻合術～」

IS Award 受賞者

Dr. Takeo Minaguchi (JAPAN) ISO-1-3

Dr. Suzanna Chatterjee (USA) ISO-2-5

Dr. Tatsuya Fukami (JAPAN) ISO-2-6

Dr. Dittakarn Boriboonhirunsarn (THAILAND) ISO-2-7

Dr. Yoko Urata (JAPAN) ISO-3-1

Dr. KyongWook Yi (KOREA) ISO-3-2

Dr. Yu-Ju Lin (TAIWAN) ISO-3-3

Dr. Hee Seung Kim (KOREA) ISO-4-1

Dr. Chie Nagata (JAPAN) ISO-4-2

Dr. Li Li (CHINA) ISO-4-6

IS Good Poster Award 受賞者

Dr. Gandolgor Ulniinorov (MONGOLIA) ISP-1-1

Dr. Hyun-Jin Roh (KOREA) ISP -5-9

Dr. Heather Gottlieb (CANADA) ISP -8-4

Dr. Yu-Chieh Yang (TAIWAN) ISP -8-5

Dr. Eun Young Ki (KOREA) ISP -13-1

Dr. Xishi Liu (CHINA) ISP -14-4

Dr. Hidetoshi Tomabechi (JAPAN) ISP -15-3

Dr. Budiman Kharma (JAPAN) ISP -16-3

Dr. Takafumi Kuroda (JAPAN) ISP -17-1

Dr. Dawn Chung (KOREA) ISP -19-5